

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年11月2日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年11月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【港湾物揚場におけるタンクローリーからの軽油の漏えいについて】 港湾物揚場においてタンクローリーによる作業用発電機への給油を行う際に給油ホースに亀裂が発生し、約10リットルの軽油が漏えい。 漏えいした軽油の回収、処理を実施。 港湾への軽油の流出はなし。</p>	G II
2	<p>【増設多核種除去装置(A)の流量調整弁に対する監視制御盤における開度表示ずれについて】 増設多核種除去装置(A)前処理装置クロスフローフィルタの流量調整弁本体の開度に対して水処理制御室・監視制御盤における開度表示がずれていることを確認。 なお、当該流量調整弁の前後弁の操作により運転可能。</p>	G III
3	<p>【J6西タンクエリア南側外堰のコンクリート目地部からしみについて】 J6西タンクエリア南側外堰のコンクリート目地部からのしみを確認。 当該しみ水の放射能濃度は雨水と同等であることを確認。 しみの原因調査及びしみ箇所の補修を予定。</p>	G III
4	<p>【2号機原子炉格納容器ガス管理設備の水素モニタ警報の発生について】 2号機原子炉格納容器ガス管理設備水素モニタ機器周りでの作業に伴い、水素モニタの高警報が発生、復帰を繰り返す現象が発生。 調査の結果、警報ケーブル端末部の接触不良を確認。 警報ケーブル端末部の修理を行い、異常のないことを確認。</p>	G III
5	<p>【足場解体作業における作業員の負傷について】 4号機タービン建屋2階における足場解体作業において、作業員が吊り降ろし中の鋼材と接触し、負傷。</p>	G III